【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第４部門第１区分
【発行日】令和1年7月11日(2019.7.11)

【公開番号】特開2017-214718(P2017-214718A)
【公開日】平成29年12月7日(2017.12.7)
【年通号数】公開・登録公報2017-047
【出願番号】特願2016-107441(P2016-107441)
【国際特許分類】
Ｅ０４Ｆ　15/04　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｅ０４Ｆ　15/04　　６０１Ａ

【手続補正書】
【提出日】令和1年5月30日(2019.5.30)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１】
板状の表面材と、該表面材の設置状態における下側表面の一部又は全体に付着された樹脂フォーム製の裏面材と、を有する床パネルを床構成部材上に複数並べて設置して床の表面部材を構成する床パネルセットにおいて、
前記床パネルの設置状態における下側外表面に設けられた第１の係止用部材と、
前記第１の係止用部材に係止可能であり、前記床パネルの設置状態で、少なくとも隣接する床パネルの前記第１の係止用部材の双方に同時に係止可能な長さを有し、且つ前記床構成部材に対しては非接着状態が保たれる第２の係止用部材と、
を備えることを特徴とする床パネルセット。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
上記目的を達成するため、請求項１に係る床パネルセットは、
板状の表面材と、該表面材の設置状態における下側表面の一部又は全体に付着された樹脂フォーム製の裏面材と、を有する床パネルを床構成部材上に複数並べて設置して床の表面部材を構成する床パネルセットにおいて、
前記床パネルの設置状態における下側外表面に設けられた第１の係止用部材と、前記第１の係止用部材に係止可能であり、前記床パネルの設置状態で、少なくとも隣接する床パネルの前記第１の係止用部材の双方に同時に係止可能な長さを有し、且つ前記床構成部材に対しては非接着状態が保たれる第２の係止用部材と、を備えることを特徴とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
上記構成を有する床パネルセットによれば、床構成部材上に床パネルを複数並べて敷設

し、第１と第２の係止用部材の係止により、床構成部材上に安定して設置される。すなわち、それぞれの床パネルは第２の係止部材によって連結され、個々の位置ずれが防止される。かつ、第２の係止部材は、直下の床構成部材に対して接着される構成を有さないことから、床構成部材に対しては非接着状態が保たれる。したがって、当該床パネルセットを撤去する場合には簡単に取り外すことができ、接着のための部材が痕跡として残ることがなく、それらを除去する作業が不要である。

【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
この構成によれば、第１の係止用部材は限られた範囲でのみ設置され、且つ対向する辺を含む複数の辺に沿って設置されることから、床のサイズや形状に合わせて任意に床パネルを配置する場合でも隣接する床パネル同士の第１の係止用部材相互の隣接する領域が容易に確保される。したがって、生産コストを節約し、確実に隣接するパネル相互を第２の係止用部材で系止することができる。